



Campus News Rikkyo Niiza

ホームページアドレス <http://niiza.rikkyo.ac.jp/>

<No.46>

新企画

1/立教新座 (りっきょうにいざぶんのいち)

Vol.1 中学3年 石井 洋充

学校説明会などで「立教新座の生徒ってどんな感じなのですか?」「学校の雰囲気は?」などというご質問をたくさんいただきます。振り返ってみれば、本校の生徒自身にスポットをあてて紹介する機会はなかなかありませんでした。

そこで今後のキャンパスニュースでは、いろいろな形で生徒にインタビューを行い、「立教新座で学校生活を送っている生徒の生の声」をお伝えしたいと考えています。

立教新座を構成している生徒一人一人の個性、たくさんの個性を紹介することで、読んだ後にはちょっと立教新座の雰囲気も感じられるような新コーナー。それが「1/立教新座」です。

第1回目の今回、インタビューに答えてくれたのは現在中学校の生徒会長をしている3年生の石井 洋充 (いしいひろみ) 君です。

—石井君の本校受験のきっかけは?

「やっぱり、広いキャンパスに図書館など恵まれた施設、それから自由な校風にあこがれてです。」

—というと、学校説明会に参加して、そう思ったの?

「実は、僕自身は学校に来たことはなかったんです(笑)。父と母が説明会に参加して、学校のことを詳

しく話してくれました。」

—話聞くのと、実際に入学して生活するのは印象が違ったのでは?

「いいえ、想像していたとおりでした。」

—立教新座の生徒の印象はどうですか?

「とにかく明るいということが一番です。休み時間に遊んでいるときはもちろん、授業中も活発だし、質問や発言もとっても多い。それから、意外と親切だなあとも思います。」

—いいところばかりではないでしょ?

「う～ん、教室が散らかってる(笑)。キャンパスに土の場所が多いから、特に1年の時は、教室や廊下に土が多かった(笑)。それから、ゴミを分別しないで捨てる人がいますね～」

—学校で好きな場所はどこですか?

「生徒ホール(生徒食堂)です。昼食を食べながら友達としゃべる時間が好きなんです。」

—お弁当派ではないの?

「最近はお食の方が多いんですが、お弁当の時も生徒ホールにお弁当を持っていきます。昼休みはチャペル・ギルド(クラブ活動)の昼練や生徒会があるので、15分休みによく行きます。それから、図書館も好きです。」

—図書館はよく行くの?

「よく行くというより、何かのきっかけで一度行くと続くんです。行かないときは、しばらく行かなくなっちゃうんですけど…。うちの図書館は広くて、本がたくさんあるから、目的の本の他にもあれこれ読みたくなっちゃうんです。それに、生徒がリクエストした本は結構購入してくれるんです。」



それから、今は生徒会長をやっているんで、中学生徒会室も仲間といろいろ話し合いをする場所で、ここも大好きです。」

—生徒会長という重責を担っているようですが、どうして会長に立候補しようとしたの?

「小学校で児童会長もやってましたし、中学2年生の時、生徒会の役員をやってみて、この学校は生徒達で解決できることがいろいろあるんじゃないかと感じたからです。」

今年度は3つの環境“ENE”を掲げて活動しています。“ENE”とは、生活環境(Environment)、外部環境(Network)、地球環境(Environment)の3つを指しています。」

—たとえば、どんなこと?

「たとえば売店の混雑を解消することです。生徒みんなが少しずつ譲り合えば買いやすくなると思います。生徒会でポスターを貼って呼びかけていますが、なかなか難しいです。生徒ホールにある売店をもう少し広くしたり、自動販売機を置いたり、いろんな工夫ができるかなと思います。それから、スクールバスの時刻表をもう少し武蔵野線の発着時間とリンクさせて利用しやすくして貰えるよう学校に要望を出そうかなあと考えています。あと、エコキャップ運動やS.P.F.(セントポールズ・フェスティバル=文化祭)の改革も行っていきます。」

—文化祭の改革ってどんなこと?

「せつかく一般の方に公開してい



る行事だし、その方々にも参加してもらえようと考えています。去年まで、先生や職員の方々の投票で決めていた中学校の「展示賞」を一般の方々にも投票してもらおうと考えています。僕たち生徒も、もう少し見に来てくれる方々にも楽しめるように工夫した方がいいと思ってるんです。」

—そうですね。どちらかという立交新座の文化祭って、まずは自分たちが楽しもうっていう精神がいっぱい、見学にいらした方に楽しんでいただくような企画がこれまで少なかったのかもしれないね。まあ、「受験生のみなさん、見てください!」ってアピールし過ぎるのも不自然だとは思いますが…

「一生懸命展示をするんだし、それを見てくださる方が気持ちよく見学できるといういなあとします。それから、毎年恒例の生徒によるキャンパスツアーも出来そうです。高校生の実行委員会から、中学生のスタッフ募集がありました。先輩方からは、「展示賞」への一般参加について

でもいろいろアドバイスをもらってます。]

—文化祭が楽しみですね。少し、私生活についても聞かせてください。どこから通学しているんですか？

「国分寺です。学校へは40分～50分くらいかかります。でも、この学校はもっと遠くから通学している生徒もたくさんいて、僕なんか楽な方だと思います。」

—平日、学校があるときの過ごし方(下図参照)を聞きましたが、忙しくない？ 宿題なんてする時間はありますか？

「宿題は、量が多いときは休み時間に少しやっちゃうんです。忙しいっていても、エレクトーン(電子オルガン)をやったり、テレビも見るし、時間はある方だと思います。」

—休日の過ごし方は？ クラブ活動は休みの日にもあるのですか？

「チャペル・ギルドは、礼拝などでの奉仕活動をするときもあるけど、基本的には活動は休み。休みの過ごし方は普通ですよ(笑)。録り溜めしたテレビドラマを見たり、インター

ネットをしたり、買い物に出かけるとか、ごく普通。友達と遊ぶときは、カラオケに行ったり、ボーリングをしたり。友達に新座駅利用者が多いので、新座駅周辺で遊ぶのが便利なんです。」

—いま、熱中していることは何ですか？

「小学校1年生から習っているエレクトーン。今でも週1回教室に通っています。将来は、プレーヤーは少し大変だから難しいかもしれないけど、エレクトーンの開発者になるのもいいなあって思ってます。」

—それが、今のところの将来の夢？

「それだけではなくて、街のづくりなども好きなので都市計画プランナーにもなりたいし、小学校の教員もいいなあと思ってます。」

—夢がいっぱいありますね。最後に、石井君の中学校生活は充実してる？

「とっても楽しいです。充実してると思います」

◆しっかりしている生徒だなあ、というのが石井君と話しているときの印象。でも、写真撮影をしているときの、はにかんだ笑顔はいかにも中学生。テレビドラマは、推理ものが好きなので、最近、天海祐希主演の「BOSS」(フジテレビ系)を毎週楽しみに見ていた。尊敬する人物は、白洲次郎だそうで、早くから日本の敗戦を予期していた先見性と、世の中の流れに安易に流されず、自分の意見を貫き通す姿に共感するとのこと。

石井君の一日(火曜日)

朝食準備	通学	～授業～ 昼休みにはチャペルギルドの昼練習	生徒会活動	下校	食事	エレクトーン練習	勉強(宿題等)	テレビ
6:45起床	7:50出発	8:30学校到着	15:30終礼	18:00	19:00帰宅	20:00	21:30	22:30
								23:30就寝

キャンパスピックアップ

立教大学 学部・学科説明会

高校生活最大のイベントである校外研修旅行を5月に終え、本格的に将来の進路について考え始める時期となってくる。それが、高校2年生である。本校では、毎年6月に、高校2年生を対象とした立教大学の学部・学科説明会が開催される。生徒の進路選択に際しての手がかりとなるよう、立教大学教授に自らの学部・学科について語っていただく会である。本年度は、6月20日に池袋キャンパス、27日に新座キャンパスと2週に分けて実施された。

日程はいずれも土曜日であるため、生徒は4限まで授業を受けた後に、説明会へ参加する形となった。特に20日の場合は、会場が池袋キャンパスであるため、授業後に池袋キャンパスへ移動して参加するという日程であった。

そのような強行日程であるにも関わらず、生徒は希望学部の説明にそれぞれ熱心に耳を傾けており、複数学部の説明を聞く者も見受けられた。

立教大学は、近年、新学部・学科の開設が相次ぎ、名称だけではどのようなことを学ぶのかをイメージしにくいところが多いのもまた事実である。その点を解消する意味でも、学部・学科説明会が開催されることの意義は大きいと言える。1学部あたりの時間も40分と昨年に比べて長くなり、より充実した内容となった。

この説明会への参加を機会にして、生徒が自らの将来をより真剣に考えるようになってくれれば幸いである。

高校2年担任 増山智宏

●各学部の聴講者数●

文学部	26名
経済学部	105名
社会学部	36名
法学部	41名
理学部	36名
経営学部	44名
観光学部	19名
現代心理学部	7名
コミュニティ福祉学部	7名
異文化コミュニケーション学部	3名



教育実習を終えて

今年も教育実習生として
本校卒業生が母校に帰ってきました。

立教大学経済学部会計ファイナンス学科4年 長沢 祐城

立教大学理学部物理学科4年 水野 瑛己

教育実習生として再び立教新座にやってきた僕が一番はじめに思ったこと、それは「来てしまった…」だった。

高校時代は色々な先生方にお世話になった。長いこと授業を担当して頂いた先生、担任をもって頂いた先生、名前も知らず怒られた先生…。何故かは分からないが、一度も関わっていないはずの先生にも名前を覚えていた気がする。

特に悪さはしていないはずなんですけど…。

本人的には、授業中以外は明るく活発で礼儀正しい、ちょっとやんちゃな爽やか立教ボーイだったと思う。

授業中はまあ…世の中では寝る子は育つと言うらしいですね。ちなみに僕の背は183cmです。

そんな僕が教員になろうと決心し、教育実習に行く事になった時、気がかりだったのは先生方の反応だった。

結果はやはり「へえー…長沢くんがねえー…」といったものだった。

本当に本気でやらないとヤバイ…。初日の段階で確信が変わった。

そんな僕が心がけたのは生徒との距離だった。

年齢も近いし、同じ立教新座出身。でもそれ以上に、生徒との距離が遠い授業なんてつまらない、と僕自身がずっと思っていたからだ。

先生は友達の延長ではないと必ず耳にする。でも生徒が聞きやすい空気を作り出すのも、先生の大事な能力だと思う。

幸いな事に、最高のクラス・生徒に恵まれた様で、自然と会話できた事が何よりも嬉しかった。

今回の教育実習は本当に数多くの事を生徒から教えてもらった。僕が教壇から教えた内容の100倍くらい教わった。

この短いスペースだけでは感謝すら言いきれないほどに。

この経験と感謝を胸に、最高の教師になってみせると誓った21歳の初夏。



(長沢先生：中央)



(水野先生：前列右)

立教新座高等学校を卒業してから約3年半が経ち、今回は教育実習生として母校に帰って来ました。馴染みの教室で授業をするのは、何とも言えない不思議な感覚でした。

実習期間中、「教員は忙しい日々を送っている」ということを何度も痛感しました。教材研究をして授業を行うのは勿論のことですが、授業とは直接関係のないことも行う必要があります。殆どの時間を授業関係（教材研究を含む）に費やしましたが、それだけでもかなりの時間を要しました。あまりにやるが多いため、学校が出るのが19、20時頃になることが殆どでした。

自分が行った授業について振り返ってみると、「失敗もあり成功もあり」というのが率直な感想です。改善点は必ず生じるので、(同じ内容を担当している)他のクラスで修正することの繰り返しでした。特に授業が連続している場合、短時間に調整する必要があるため大変でした。その一方で、少し授業の仕方を変えただけで、生徒が全く違う反応を示したことに驚きました。このことは、教育実習を通して得た大きな収穫の1つです。

教育実習を通して、教員は大変な職業であると同時に、非常にやり甲斐のある職業でもあると痛感しました。わずか3週間でしたが、「将来は教員になりたい」という気持ちは更に強いものとなりました。教育実習を通して得ることができた貴重な経験は、必ず今後に活かします。最後に中高生へメッセージですが、中高での学校生活は本当にあつという間です。是非とも、充実した学校生活を送ることができるように、色々なことに一生懸命になって取り組んで下さい。

2009年度 S.P.F.のお知らせ

S.P.F.実行委員長 高校3年 小袋 成彬

例年盛り上がる本校の文化祭、S.P.F.。例年多くの方にご来校いただき、「自由の学府」を存分に感じていただいています。本年度のテーマは【ゆとり世代の逆襲】。ゆとり世代と言われながらも「こんな野望があるんだ!」「俺たちにもできるんだぞ!」というエネルギッシュな催し物を用意しています。日頃の成果をいかに発揮できるような最高のテーマとあって、今回は内容充実に非常に力を入れております。例年行われている中夜祭、校内を細かく紹介するキャンパスツアー、音楽団体によるライブパフォーマンス、工夫を凝らした研究発表や、各喫茶店、来校者参加型の本部企画等、例年以上に内容盛りだくさんです。ぜひ我々の情熱を、大志を、やる気を感じに来てください。

2009年度 S.P.F.(文化祭)日程

日 程	10月24日(土)
Ⓧ	10:00 ~ 16:00
Ⓡ	10:00 ~ 17:00
	17:30頃よりグラウンドにて花火の打ち上げを行います。(天候により中止になることもあります。)
	10月25日(日)
Ⓧ	9:00 ~ 15:00
Ⓡ	9:00 ~ 15:30

文化祭両日に、学校紹介のコーナーを設けます。

内容：学校関連の展示
本校に関する個別質問コーナー
願書販売(予定)

本校への自家用車での来校はご遠慮ください

2009年度 学校説明会日程

○中学校

- ① 9月27日(日)
 - 1回目 9:30~
 - 2回目 11:30~
- ② 11月22日(日)
 - 1回目 9:30~
 - 2回目 11:30~

○高 校

- ① 9月27日(日)
 - 13:30~
- ② 11月22日(日)
 - 13:30~

※参加申し込みは不要です。時間までに本校にお越し下さい。
※各日、1回目の説明会が満席の場合、2回目の説明会に参加していただくことがあります。予めご了承下さい。

故今野正行先生逝去記念式

新学期早々、本校に、悲しく、つらい出来事が起こりました。本校数学科教諭で2年1組の担任をされていた今野正行先生が、突然お亡くなりになりました。先生は、今年春先より体調を崩され、4月より本格的な治療のために入院されましたが、その直後、突然の訃報が伝えられたのでした。

先生は、1973年に本校教員となられ、授業だけでなく水泳部やゴルフ部の顧問としてご活躍されました。また、お若い頃には当時あった寄宿寮の寮主任・寮長を長年勤められ、生徒たちと寝食を共にしながら、あるときは厳しい父親のよう

に、あるときは何でも相談できる兄貴として生徒の成長を見守っておられました。本校チャペルで行われたお通夜・告別式に多くの関係者や卒業生が訪れ、そんな先生との別れを心から惜しみました。

学校では、6月4日、今野先生の逝去を悼み、全校生徒参加のもと、逝去記念式を営みました。最後に担任をなさった2年1組の生徒によるお別れの言葉は、先生がいかに生徒に慕われ、信頼されていたかがうかがわれ、大きな悲しみが会場を包みました。壇上に飾られた今野先生の遺影は、優しい笑顔をたたえていました。逝去記念式に参加した生徒・教職

員全てのものが、今野先生が一番望まれていた「生徒のための学校」を心に刻み、先生を想う時間を共に持ちました。



行事予定～中学校～

7/18(土)	1学期終業礼拝(夏期休業～9/3)
20(月・祝)	1年社会科校外学習①
22(水)	1年社会科校外学習②
8/17(月)	ハヶ岳ボランティアキャンプ(～19)
9/4(金)	2学期始業礼拝・宿題試験
19(土)	運動会
27(日)	学校説明会
10/6(木)	朝霞地区大会(～8)
15(木)	中間試験(～16)
18(日)	英検(学内受験)
24(土)	S.P.F.(文化祭)(～25)

行事予定～高校～

7/18(土)	1学期終業式(夏期休業～9/3)
8/10(月)	榛名ボランティアキャンプ(～13)
17(月)	ハヶ岳ボランティアキャンプ(～19)
9/3(木)	認定試験
4(金)	2学期始業式 宿題試験
24(木)	3年卒業研究論文仮提出(～30)
27(日)	学校説明会
10/1(木)	1年対象大学特別授業
15(木)	中間試験(～16)
18(日)	英検(学内受験)
24(土)	S.P.F.(文化祭)(～25)

チャペルだより

人の命

5月5日(火)午前11時22分、敬愛する今野正行先生が58歳で逝去されたのは、本校全生徒・教職員に本当に大きな衝撃を与えた。教員室でいつもにこやかに笑い、冗談を飛ばしながら話しかける今野先生の姿から、どれだけ多くの勇気や明るい気持ちをいただいたかわからない。

今野先生が入院療養されると聞いた翌日、教員室へ行くと今野先生は通常通り出勤されていて、間近に迫った高校2年生の校外研修旅行の部屋割りについて同学年の先生方と話合っておられた。今野先生に、「大丈夫でいらっしゃいますか」と聞くと、「大丈夫です。ありがとうございます」と笑顔で答えられた。なんと不適切な問いかけをし



てしまったことかと今でも悔やまれる。大丈夫なわけではない。今野先生は命の危険に直面し、大きな不安を持っていたに違いないのに、そんな様子を見せることなく、笑顔で話しかけられたのだった。

今野先生が逝去された5月5日、私は8月に行われる研修会の散歩コースの下見に横浜へ行っていた。石川町駅の横にある大丸谷坂を上っていた時、澁谷教頭先生から、今野先生が心肺停止状態になったとの連絡があった。そしてその2時間後に逝去されたのだった。

本校チャペルで行われた、通夜の祈り、葬送式、そして6月4日の逝去者記念式に出席していた生徒たちを見て、皆に慕われ、生徒のことを大切に、心配し、力の限り尽くされた今野先生の人柄を感じさせられた。

私たちは明日自分がどうなっているかわからない中で生きている、そのことは皆、頭ではわかっているが、自分の生き方の中ではどうだろうか。いつ自分の命が終わってしまったとしても、悔いのない日々を精一杯に生きているだろうか。突然訪れる命の終わりの時に、慌てふためき、後悔ばかりするような日々を過ごしてはいないだろうか。

今野先生がチャペルに安置された時、その顔は笑っているように見えた。「私は十分に生きてきた。もはや悔いはない、お前たちもこのように生きろ」と語りかけているようだった。

(チャプレン 鈴木 伸明)

編集後記

今回1人ではありますが、初めてインタビューをしてみて、思っていた以上に中高生って毎日忙しく過ごしているんだなあと感じました。

今、楽しいこと、熱中していること、頑張っていることなどを語る、生徒の姿を今後たくさん届けていけたらいいなと思います。

Campus News Rikkyo Niiza 第46号

編集：立教新座中学校・高等学校 教務・入試広報課
発行：立教新座中学校・高等学校

〒352-8523 埼玉県新座市北野1-2-25 ☎048-471-2323(代表)